

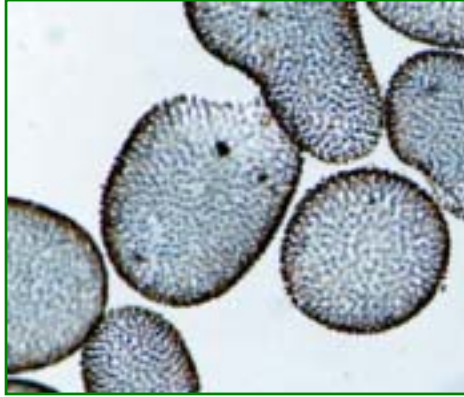
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第7報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年5月19日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Proales parasista
(プロアレス パラシスタ)
輪虫類

虫形もしくは紡錘形の体をしている。長さ140～180 μmと小さい。ウログレナの群体中に見られる。

コメント

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナ (*Uroglena americana*) の細胞数が増加し、淡水赤潮に近い状態となり、検水は「なまぐさ臭」が感じられた。また、当日実施した琵琶湖水質調査では、大津市や能登川町沖など琵琶湖7水域で淡水赤潮の発生が確認された。このような大規模な発生は、昭和56年以来のことである。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Proales parasista</i>	410

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	310

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年5月19日

第7報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	36000		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(珪) <i>Melosira varians</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	9		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	12		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	18		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	36		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	2		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	360		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	21		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	36060	98.2	90.4
(珪) 珪藻綱	165	0.4	1.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	22	0.1	0.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	460	1.3	2.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	31	0.1	5.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	36738	総体積	1.02E+07
種類数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。